

横田基地における新型インフルエンザの感染拡大防止
に向けた取組みについて（要請）

5月1日、外務省より、米本国から横田基地に到着した航空機の乗客から、簡易検査でA型インフルエンザの陽性反応を示す者が出た旨の発表があり、その後詳細な検体検査の結果、3日に新型インフルエンザには感染していない旨の発表がありました。

しかし、横田基地では現在も海外との航空機の往来が頻繁に行われており、ひとたび感染者が発生すれば、人口が密集した首都圏に所在する基地であることから、その影響は計り知れないものとなります。そのため、周辺住民は新型インフルエンザの感染拡大に強い不安を抱えています。

横田基地では、海外において新型インフルエンザが発生したことを受け、検疫などの措置を強化されているとのことですが、改めて下記の事項について米軍に対し強く申し入れるよう要請します。

記

1. 新型インフルエンザ感染拡大防止のための適切かつ万全な予防措置を講じるとともに、具体的な措置状況を速やかに情報提供すること
2. 今後新たに、簡易検査でA型インフルエンザの陽性反応者が判明した場合には、その事実を速やかに情報提供するとともに、その後の状況についても、適宜情報提供すること

以上

平成21年5月4日

外務大臣
北関東防衛局長
横田防衛事務所長

中曽根 弘文
鎌田 昭良
関 壽夫

殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長	東京都知事	石原 慎太郎
副会長	武蔵村山市長	荒井 三男
	立川市長	清水 庄平
	昭島市長	北川 穰一
	福生市長	加藤 育男
	羽村市長	並木 心
	瑞穂町長	石塚 幸右衛門